

大海原に挑戦 〜第38回カヌー長島海峡横断大会〜



潮流やうねりに耐え、大海原をこぎ進める選手ら



力強く宣誓をする山下さん

長島の自然に親しみながら大会を通じて、島原・天草・長島間の三県架橋構想実現に向け気運を高めるための活動の一つとして、第38回カヌー長島海峡横断大会が8月11日に開催されました。

今回は、三県架橋構想で架橋の経由地である長崎県南島原市の児童生徒ら9人が参加、さらに、与論町からも4人が加わり、本町の児童生徒と合わせて31人が、ゴールの蔵之元艇庫を目指しました。

開会式では、川添健町長らが選手たちへ激励の言葉を述べたあと、山下煌月さん（平尾中3年）が「日頃の練習の成果

を十分に発揮し、最後まで全員であきらめずこぎきること

を誓います」と力強く宣誓しました。

選手たちは、午前11時30分救助船が見守る中、元気いっぱい牛深港をこぎだしました。

潮流やうねりの影響で苦戦しながらも、約8キロの航路を、小学生は4キロのリレーで、中学生は一人でチャレンジし、全員が無事にゴールしました。

町田結亜さん（蔵之元小5年）はゴール後に航路の方角を振り向き「こんなにこいで来たんだ」と達成感に満ちた表情でした。



家族らの声援を追い風にラストスパート



まっすぐゴールを見据える選手



期待と不安を胸に牛深港からこぎだす